

名古屋国際学園増築 中経連寄付呼びかけ

外国人子弟増で

中部経済連合会は、イン
ターナショナルスクール
「名古屋国際学園」（NI
S、名古屋市守山区）の新
校舎建設に向け、建設資金
の寄付を会員企業に呼びか
けている。自動車製造や航
空機産業を中心に東海地方
に赴任する外国人従業員が
増え、通学する子弟向けの
教室が不足しているとい
う。

新校舎の総工費は約16億
3000万円で、NISは

資金の一部として地元経済
界に4億円の寄付を求めて
いる。寄付金以外は自己資
金と借入金で賄う計画だ。
新校舎の完成は2020年
を目指している。

中経連の豊田鐵郎会長
は、外国人向けの学校が「海
外企業を（東海地方に）誘
致するために必要な基盤
だ」としてNISへの支援
を求めている。

NISは高度経済成長期
の1964年に開校。授業
は英語で行われており、現
在、37か国から約500人
の児童・生徒が学んでい
る。